

謹んで初春のお慶びを申し上げます

今年こそはコロナに打ち勝つ年にしたいですね 2022年 元旦

長良川の河川敷は、外来（侵入）植物の宝庫です。いずれも繁殖力が旺盛で、生態系保護を重視する人たちからは親の仇のように嫌われていますが、個々にみるとなかなかきれいな花です。出会ったら、愛でてあげてください。（毎年花の写真ですみません）



←ヒサウ千ソウ 5月の連休のころ堤防を一面に飾ります。82年に名古屋で初めて発見されたとあります。半寄生植物です。



→セイヨウヒキヨモギ ヒサウ千ソウにそっくりですが、属が異なります。ヒサウ千ソウに少し遅れて咲くようです。



←イヌコモチナテシコ ナテシコを小さくしたような花です。花序（膨らんだところ）に複数の花芽があり、一つずつ次々と咲きます。



→フタナ タンポポのようですが、花径がひよろ長く、大群落を作ります。名前は、フランス名が「豚のサラダ」だからとか。もう少しかわいい名前をつけてあげたくなります。



↑ オオキンケイギク 群落を作り綺麗な花なのですが、特定外来生物に指定され、一切の栽培・移動が禁止されています。勝手に持ち帰ってはいけません。